

男女間の諸問題に関する大学生の意識調査

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大塚, 清恵 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10232/1126

男女間の諸問題に関する大学生の意識調査

大塚清恵

(2004年10月16日 受理)

A Survey of Japanese Students' Opinions on Gender-Related Issues

OTSUKA Kiyoe

To Isis

序：調査の概要

16年前（1988年）から鹿児島大学の共通教育において女性学講座を開いている。ジェンダー・フリー時代が到来し「女らしさ・男らしさ」が問い直されている今、大学生のジェンダー学への関心は高く、鹿児島大学の女性学講座も毎年50人～300人の学生が受講している。この調査報告は過去2年間400人の受講生を対象に行ったアンケート結果に基づいている。調査内容は、一般・家庭・政治・教育・労働・性・法律・心理の八項目にわたり、調査対象とした学生の学部比率は工学部（37%）、法文学部（28%）、農学部（10%）、理学部（7%）、医学部（7%）、教育学部（6%）、水産学部（3%）、歯学部（1%）であった。この論文では、全体の65%を占める工学部と法文学部の回答者の中から100人ずつ無作為抽出し、そのアンケート結果を男女別に分けて集計し性別比較分析を行った。調査対象者の数が少ないので、統計学的客観性は低いと思うが、アンケート分析から最近の鹿児島大学生の男女間の諸問題および性役割に対する考えを多少は浮き彫りにできると思う。今後も5年ごとに同じ調査をし、鹿児島大学生の男女関係に関する意識の変化を追っていきたいと思う。

I 男女関係に関する意識調査

回答者総数200名：女子100名（工学部37、法文学部63）

男子100名（工学部63、法文学部37）

（注）各項目の回答者の合計が常に100にならないのは無回答の者がいるため。

各問いに対して、該当する答えに○をつけよ。

(一般)

1 男女平等の実現を望むか

	女	男
望む	100	98
望まない	0	2

2 男女関係のあり方や性差別問題について考えたり、話し合ったりすることがあるか

	女	男
ある	50	31
ない	50	69

3 地位において、日本の女性が男性に追いつくのはいつ頃だと思うか

	女	男
20年後	30	30
30年後	18	26
50年後	26	19
100年以上	12	11
永久にない	13	10

(家庭)

1 結婚を望むか

	女	男
望む	66	71
望まない	6	10
わからない	28	19

2 子どもは何人欲しいですか

	女	男
0人	6	7
1人	5	5
2人	50	58
3人以上	20	20
わからない	18	10

3 結婚後の夫婦の働き方は

	女	男
共働き	57	35

夫だけ働く	5	11
妻だけ働く	0	1
わからない (= 状況しだい)	36	53
4 夫婦の家事分担の比率はどのくらいが望ましいと思うか		
妻：夫	女	男
3：7	0	1
4：6	1	3
5：5	50	39
6：4	31	23
7：3	16	26
8：2	2	6
9：1	0	1
5 夫婦の育児分担の比率はどのくらいが望ましいと思うか		
妻：夫	女	男
1：9	0	1
3：7	0	1
4：6	0	1
5：5	63	57
6：4	27	24
7：3	8	12
8：2	0	3
9：1	0	1
6 もし配偶者の学歴があなたより上だったら？		
	女	男
嬉しい	24	11
嫌だ	1	10
なんとも思わない	74	79
7 もし配偶者の年収があなたより上だったら		
	女	男
嬉しい	47	23
嫌だ	2	23
なんとも思わない	51	53

8	もし配偶者の地位があなたより上だったら		
	女	男	
	嬉しい	26	13
	嫌だ	11	20
	なんとも思わない	63	67
9	結婚後、両親との同居を望むか		
	女	男	
	望む	9	15
	望まない	89	84
10	寝たきりの老人の看護は誰の責任か？		
	女	男	
	夫	1	0
	妻	2	0
	家族全員	93	85
	社会（ホームヘルパーや 老人ホームなど）	3	15
11	育児休暇は夫婦どちらが取るか		
	女	男	
	夫	0	1
	妻	26	23
	夫婦が交代で取る	54	58
	わからない	17	19
12	配偶者が転勤になったらどうするか		
	女	男	
	付いていく	46	27
	別居する	5	15
	わからない	47	58
13	結婚相手の選択において重視するものを次から三つ選べ		
	女	男	
	性格の一致	64	74
	学歴	0	3
	職業や地位	3	0
	思想・価値観の一致	44	53
	容姿・容貌	6	42

経済力	48	9
愛情	69	67
家柄	0	0
人格や生き方	49	46
その他		

14 「主人」, 「奥さん」, 「未亡人」といった男尊女卑的な呼称をどう思うか

	女	男
改めるべき	42	38
改めなくて良い	57	51

(政治)

1 投票するとき, 候補者の性別を気にするか

	女	男
する	11	11
しない	88	89

2 女性の首相が誕生したら

	女	男
嬉しい	48	23
嫌だ	1	5
なんとも思わない	50	72

3 女性の政治家の増加を望むか

	女	男
望む	91	73
望まない	6	22

4 女性政治家の増加は政界の浄化につながると思うか

	女	男
思う	32	24
思わない	13	29
わからない	54	47

5 女性政治家の増加は戦争防止につながると思うか

	女	男
思う	21	18
思わない	23	33
わからない	55	49

6 政治能力において一般に男女差はあると思うか

	女	男
思う	24	26
思わない	54	58
わからない	21	16

(教育)

1 結婚相手にどの程度の学歴を希望するか

	女	男
大学院卒	3	0
四大卒	47	16
短大卒	1	15
高専卒	1	1
高卒	10	25
中卒	2	0
学歴不問	33	42

2 娘を持った場合、娘にどの程度の教育を受けさせるか

	女	男
大学院卒	4	5
四大卒	47	55
短大卒	9	2
高専卒	0	0
高卒	8	8
中卒	1	0
特に希望なし	31	30

3 息子を持った場合、息子にどの程度の教育を受けさせるか

	女	男
大学院卒	7	5
四大卒	47	62
短大卒	3	0
高専卒	0	6
高卒	10	18
中卒	1	6
特に希望なし	31	26

4 大学で女子は教育・文学・家政に集中し、男子は法経・理工に集中する傾向をどう思うか

	女	男
当然である	3	6
良くない	36	37
仕方がない	59	56

5 男子は四年生大学、女子は短期大学に進む傾向をどう思うか

	女	男
当然である	2	4
良くない	53	45
仕方がない	45	49

6 高校における家庭科の男女共修化をどう思うか

	女	男
当然である	91	73
女子だけ受ければ良い	0	1
どうでもいい	9	26

7 伝統的な女性役割、男性役割を果たさせるために、子どもの性別に合わせて玩具や遊びを変えたり、限定することをどう思うか（例：女子は人形遊びやままごと、男子はミニ・カー遊びや戦争ごっこ）

	女	男
当然である	14	16
時代遅れで不要	43	33
わからない	43	51

8 女性の学校管理責任者（校長、教頭など）はもっと増加すべきだと思うか

	女	男
思う	81	65
思わない	18	32

9 出席簿は大学・短大・幼稚園のように男女分けずに50音順に並べたもの（男女混合型）と小・中・高校のように男女別々にして50音順に並べたもの（男女別型）とどちらが良いと思いますか

	女	男
男女混合型	66	61
男女別型	33	39

(労働)

- 1 女性の上司の下で働くのをどう思いますか
- | | 女 | 男 |
|------------|----|----|
| 嬉しい | 22 | 10 |
| 嫌だ | 1 | 6 |
| 別になんとも思わない | 77 | 84 |
- 2 賃金における男女格差はなくすべきだと思うか
- | | 女 | 男 |
|------|----|----|
| 思う | 99 | 85 |
| 思わない | 1 | 12 |
- 3 管理職における男女格差は改善すべきだと思うか
- | | 女 | 男 |
|------|----|----|
| 思う | 97 | 83 |
| 思わない | 3 | 14 |
- 4 卒業後、どれくらいの期間はたらくつもりか
- | | 女 | 男 |
|---------|----|----|
| 働く意志なし | 0 | 5 |
| 結婚か出産まで | 20 | 1 |
| 定年まで | 4 | 30 |
| 働ける限り | 69 | 58 |
| わからない | 7 | 6 |
- 5 男性が主夫，保父，看護師といった従来女性の仕事であった職種に就くことをどう思いますか
- | | 女 | 男 |
|------------|----|----|
| 別にかまわないと思う | 99 | 98 |
| 男らしくないから嫌だ | 1 | 2 |
- 6 女性が運転手，建設作業員，外科医といった従来男性の仕事であった職種に就くことをどう思いますか
- | | 女 | 男 |
|------------|----|----|
| 別にかまわないと思う | 99 | 96 |
| 女らしくないから嫌だ | 0 | 4 |
- 7 今後，職種・職域における慣習的な性差別はなくすべきだと思うか
- | | 女 | 男 |
|------|----|----|
| 思う | 98 | 95 |
| 思わない | 2 | 3 |

(性)

1	結婚前の肉体関係について		
		女	男
	当然である	64	77
	やや抵抗を感じる	35	18
	持つべきでない	1	4
2	結婚後、浮気をするか		
		女	男
	絶対する	0	4
	するかもしれない	10	20
	絶対しない	50	40
	わからない	40	36
3	配偶者が浮気したら		
		女	男
	別にかまわない	5	10
	一過性なら許す	50	47
	断固許さない	45	43
4	性を商品化したソープランド、海外売春ツアーなどをどう思いますか		
		女	男
	不道徳で許せない	56	26
	必要悪だ	24	30
	別に悪いことではない	19	43
5	アダルトビデオ、ポルノコミックの氾濫をどう思いますか		
		女	男
	何らかの規制が必要	84	46
	規制すべきでない	16	52
6	同性愛（ホモ・レズ）についてどう思うか		
		女	男
	悪いことで慎むべきだ	4	7
	仕方がない	20	27
	別に悪いことでなく個人の自由	76	66
7	夫婦間であっても合意のない強制的性交は強姦であると思うか		
		女	男
	思う	98	83

思わない	2	17
8 セクシャル・ハラスメントを受けたり、行ったりした経験があるか		
	女	男
はい→簡単に説明 []	9	7
いいえ	86	92
9 女性は性体験が少ない方が良いが、男は性体験が多いほど男らしいというような性の二重基準をどう思うか		
	女	男
なくすべきだ	85	68
仕方がない	14	30
当然である	0	1
10 女性だけを容姿・容貌で評価するミス・コンテストを国や地方自治体が主催・後援していることをどう思うか		
	女	男
良くないと思う	17	16
別に何とも思わない	83	83

(法律)

1 性差別禁止法(憲法14条・24条, 女性差別撤廃条約, 男女雇用機会均等法など)の存在を知っているか		
	女	男
はい	92	76
いいえ	8	24
2 女性差別撤廃条約や男女雇用機会均等法の中身をだいたい知っているか		
	女	男
はい	49	44
いいえ	50	56
3 民法(750条)「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫または妻の氏を称する」を改正して、夫婦別姓が選択できるようにすべきだと思うか		
	女	男
思う	71	60
思わない	28	39

4 夫婦同氏を選択する場合、どちらの姓を名乗るか

	女	男
自分の姓	3	38
相手の姓	55	6
ジャンケンなどで決める	8	9
わからない	34	47

5 民法（731条）「男は満18歳、女は満16歳に達していなければ結婚することはできない」を改正し、婚姻できる最低年齢を男女同一とすべきという主張があるが、どう思うか

	女	男
賛成	45	51
反対	11	12
わからない	44	34

6 女性の待婚期間（六ヵ月）は必要だと思うか

	女	男
思う	41	38
思わない	58	58

7 現在の売春防止法は有罪となった女性だけを補導処分にする。このことに関して男女平等という観点から売春した女性だけでなく買春した男性もともに処罰すべきだという主張が根強く行われているが、どう思うか

	女	男
法を改正すべきだ	90	68
現行法のままで良い	5	12
わからない	4	18

(心理)

1 女らしさ、男らしさは

	女	男
先天的なものだと思う	15	19
後天的なものだと思う	22	35
両者のあわさったもの	62	43

2 あなたはできるだけ既成の女らしさ、男らしさの枠の中で生きていきたいと思うか

	女	男
思う	16	35
思わない	83	58

3 一般知能において男女どちらが勝っていると思うか

	女	男
女	15	10
男	16	17
変わらない	69	71

4 一般的に言語能力において男女どちらが勝っていると思うか

	女	男
女	40	41
男	2	5
変わらない	56	52

5 一般的に空間知覚能力において男女どちらが勝っていると思うか

	女	男
女	8	9
男	34	37
変わらない	58	53

6 一般的に数学能力において男女どちらが勝っていると思うか

	女	男
女	0	3
男	52	47
変わらない	48	48

7 以下の特性で自分に当てはまると思うものに印せよ

A群

- () 積極的である
- () 傲慢さがある
- () 自己主張できる
- () 満足することを知らず貪欲である
- () 自分に自信がある
- () 支配欲が強い
- () 指導力がある
- () 皮肉屋で冷笑的である
- () 野心的である
- () 大雑把で小さいミスを犯す
- () 競争的である
- () 暴力を振るうことがある

- () 好奇心が強い
- () 無鉄砲である
- () 理性的である
- () 頑固である
- () 個性が強い
- () 不潔や乱雑さが気にならない
- () 大胆で勇気がある
- () 怒ると興奮しやすい
- () 思想や信念を持っている
- () 自分の外見や身なりに無頓着である
- () 行動力がある
- () 他人とよく衝突する
- () 意志が強い
- () 他人の不幸に対して冷淡である
- () スポーツ・冒険が好き
- () 他人と親密な関係が持てず孤立しがちだ
- () 機械に興味がある
- () 残酷なものを見て面白がる
- () 分析力がすぐれている
- () 抽象理論を振り回して現実離れしがちだ
- () 独立心が強い
- () 言葉づかいが荒い
- () 「物」を対象にした学問（自然科学，数学）
- () 無愛想である
- () 開放的な性格
- () 攻撃的である
- () 仕事を大切にする
- () 性的に放縦である

当てはまる特性の数：女9.6 男10.2

B 群

- () 謙虚である
- () 消極的である
- () 優しく思いやりがある

- () 依存心が強い
- () 協調的である
- () 感情的である
- () 寛大で他人の欠点・過ちを許す
- () 孤独に弱い
- () 利他的で自己犠牲を払う
- () 他人に媚びる
- () 生命を大切にする
- () 自分に自信がない
- () 素直である
- () 他人に同調して流されやすい
- () 適当に愛嬌があり人に好かれる
- () 臆病である
- () 言葉づかいが丁寧である
- () 悲しいときや苦しいときはすぐ泣く
- () 身だしなみが良い
- () 感傷的である
- () 繊細である
- () 未知のものを恐れる
- () きれい好きで清潔である
- () 自分の容貌・容姿を非常に気にする
- () 用心深く慎重である
- () 個性がない
- () 芸術・文芸を愛する
- () 思想・信念を持たない
- () 温順である
- () 気まぐれである
- () 直観力が優れている
- () 些細なこと2でくよくよする
- () 同情心が厚く涙もろい
- () 意見や態度を明確にしない
- () 「人間」を対象にした学問(社会科学, 人文科学)が好きだ
- () 社会の出来事に無関心である
- () 友人が多く人間関係が豊かである

- () 変化を嫌い現状に満足しようとする
 () 家族を大切に
 () 失愛恐怖が強く、Noと言えない

当てはまる特性の数：女12.8 男11.7

8 好きなタレントは誰か () 内の数は獲得票数

女 同性：松嶋菜々子(8)、長谷川京子(6)、菅野 美穂(6)、紫咲 コウ(4)、仲間由紀恵(3)、
 矢田亜希子(3)、中谷 美紀(3)、坂下千里子(2)、持田 香織(2)、江角マキ子(2)、
 りょう(2)、山口 智子(2)、浜崎あゆみ(2)、小泉今日子(2)

その他一票獲得者22名

異性：妻夫 木聡(8)、玉木 宏(3)、竹野 内豊(3)、稲葉 浩志(3)、織田 裕二(2)、
 木村 拓也(2)、堂本 剛(2)、渡辺 篤郎(2)、さんま(2)、トータス松本(2)、
 森山 未来(2)、坂口 憲二(2)

その他一票獲得者40名

男 同性：岡村 隆史(4)、稲葉 浩志(3)、福山 雅治(3)、玉木 宏(3)、
 ビートたけし(2)、妻夫木 聡(2)、タモリ(2)、香取 慎吾(2)、渡辺 謙(2)、
 窪塚 洋介(2)

その他一票獲得者47名

異性：竹内 結子(4)、矢田亜希子(3)、仲間由紀恵(2)、持田 香織(2)、上戸 彩(2)、
 伊藤 美咲(2)、和田アキ子(2)、小野 真弓(2)、伴都 美子(2)、加藤 愛(2)、
 浜崎あゆみ(2)、久本 雅美(2)

その他一票獲得者41名

9 不当な性別による差別と感じた体験があったら記述せよ

回答者：女子16名、男子12名

(女子)

- ・バイクに乗りたいと言ったら「女だからやめろ」と言われた。
- ・親から「女の子なのだから家事ができなければ駄目だ」と言われた。
- ・祖母から「女の子らしくしなさい」とよく言われた。
- ・父母は同じ大学を出、同じ職業に就いている。学生時代、母は父より優秀で留年せずに卒業したが、父は2年留年した。しかし、卒業後は父がとんとん拍子で出世し、母の職場での地位は低い。納得いかない。
- ・親が「女の子は大学に進むことはない」と言ったとき差別だと感じた。
- ・女の子はできるだけスカートをはけと言われた。

- ・30歳をこえた独身男女に対して周囲が違う見方をする。男は放っておかれるのに女はしつこく見合いなど勧められる。
- ・大学院へ進学したいと言ったら母親から「女の子なのだから大学院へ行くことを考えるより医学部の男を捕まえることを考えなさい」と言われた。
- ・女も強くあるべきだと思うので、武道に励み重い荷物も進んで持つようにしているが、ある男の子から「そんな女の子は苦手」と言われショックだった。
- ・男性から優しい態度ではなく甘い態度をとられると馬鹿にされていると思う。
- ・私は大柄であることを気にしているのに体育の時間、男の先生から「そこのでかいやつ」と言われてショックだった。
- ・高校のとき進路を訊かれて「建築科に進みたい」と答えたら「女なのに何故?」と先生から言われた。
- ・「工学部の学生です」というたびに人から「めずらしいね」とか「女の子がそんなとこ出てどうするの」と言われる。

等々

(男子)

- ・映画館にレディースデイがあってメンズデイがないのは差別だ。
- ・男の先生は女に優しく男に厳しい。校則を破っても女子は注意されるだけで男子は殴られる。
- ・料理が好きでよく台所にはいるが、周りの人はよく思っていない。
- ・バイトしている所で、男は髪を黒くさせられるのに女は茶髪OK。
- ・子どものころ喧嘩に弱く泣き虫だった。近所のおばさんから「男は将来女を守らなくてはいけないからもっと強くなれ」ときつく言われて傷ついた。どうして男が女を守らなくてはいけないか。今の時代、体力より中身の強さの方が大事でないか。
- ・男だから男らしく強くなれと言われるのが大変いやだ。
- ・女性が男社会にはいると歓迎されるのに男が女社会にはいろいろと嫌われる。
- ・男装は「かっこいい」と言われるが、女装は「気持ち悪い」と言われる。
- ・中学の宿泊合宿のとき男子はプレハブ小屋で寝かされ、女子はホテルに泊った。
- ・父は妹が大学に行きたいといったとき、「女だから大学に行かなくていい」と言った。
- ・祖父は僕が長男なので妹より僕を大事にする。それが嫌だ。
- ・体育の長距離走のとき、青とピンクのゼッケンが用意されていた。どちらの色でも好きな方をとればいいのだろうと思ってみんな好きな色のゼッケンをとったが、後から男の先生から「言わなくても男は青、女はピンクに決まっているだろう!」とひどく叱られ青を取った女子とピンクを取った男子は2時間も正座させられた。

等々

II 性別比較分析

(一般)

男女ともほぼ100%男女平等の実現を願っており、約7割が50年以内に男女の地位が同じになると予想している。しかし、男女間の問題の話し合いとなると、女子は半数が「ある」と答えたのに対して男子は3割程度で、男女間の問題に対する関心は女子に比べると低いようである。

(家庭)

結婚は7割前後の学生が「望む」と答えているが、「望まない」と答えた男女学生が16名いた。最近では、シングル志向の若者が微増傾向にある。

望む子供の数においては、「2人」と回答した者がもっとも多かった。望む子どもの数においてはほとんど性差はみられない。

結婚後の夫婦の働き方は、女子は「共働き」と答えた者が57人で圧倒的に多かった。男子も35人が共働きを希望しており、従来の「夫だけ働く」生活を望む者は女子はわずか5人、男子も11人しかいなかった。若者世代では、「共働き」が当然のようだ。また、「妻だけ働く」を選んだ男子学生が1人いた。今後、このような男子学生が増えていくかどうか注目したい。

夫婦の望ましい家事・育児分担比率は男女ともに妻：夫＝5：5と回答した者がもっとも多く、つづいて妻：夫＝6：4と回答した者が多かった。

「もし、配偶者の学歴（年収，地位）があなたより上だったら？」という問いに対しては、男女とも過半数が「何とも思わない」と回答しているが、「嫌だ」と答えた女子学生がほとんどいなかったのに対して男子学生は「嫌だ」と回答した者が1割～2割存在した。「男は女より上でなくては」という意識がやはり未だ少し残っているようだ。

寝たきり老人の介護は、これまでは「嫁の仕事」とされてきたが、寝たきり老人に対しては誰が責任を負うべきかという問いに対しては、ほとんど全員（女子93人，男子85人）が「家族全員」と回答している。「老人介護を主婦一人に押し付けるのは不公平」というのが若者たちの男女共通した考えのようだ。また、男子学生は「社会」と回答した者も多かった（15人）。

「配偶者が転勤になったらどうするか」という問いと「結婚相手の選択において重視するもの」に対する回答には男女差が顕著にあらわれている。配偶者が転勤になった場合、男女ともに約半数が「わからない」と答えているが、「付いていく」と回答した者が女子は46人いたのに対して男子は27人しかいない。「夫唱婦随」という考えも若者たちの間に依然として残っているようだ。結婚相手の選択において「性格の一致」、「思想・価値観の一致」、「愛情」、「人格や生き方」は男女とも重視するが、「容姿・容貌」は42人の男子が重視すると回答しているのに対して女子は重視する者が6人しかいない。「経済力」は48人の女子が重視すると回答しているが男子は重視する者が9人しかいない。この点では男女に大きな違いがある。

(政治)

全体的にみて男女とも女性の政治家の増加を強く望んでいる。ただ、女性の政治家の増加が政界の浄化や戦争防止につながると思うかという点では女子に比べて男子は否定的回答をする者が若干おおい。

(教育)

結婚相手に望む学歴は女子は47人が自分と同じ四大卒を希望しているが、男子は四大卒を希望する者は16人しかおらず、約4割が自分より低い学歴の女性との結婚を望んでいる。しかし、自分の子どもの教育においては、男女とも子どもを性別で差別せずだいたい同じ教育を受けさせたいと望んでいることがアンケート結果からわかる。女性学校管理職者の増加や男女混合出席簿の採用に関しても男女とも6割以上の者が賛成している。

(労働)

男女ともほとんどの者が平均賃金と管理職者比率における男女格差はなくすべきだと考えている。また、職域・職種においても男女差別をなくしジェンダーフリーにしていくべきだとほぼ100%の学生が考えている。しかし、「卒業後、どのくらいの期間はたらくつもりか」という問いに対してしては大きな男女差がみられる。女子は「働ける限り」が69人、「結婚が出産まで」が20人であったが男子は「働ける限り」が58人、「定年まで」が30人であった。意外だったのは「働く意志なし」と回答したものが、女子は0人であるのに男子は5人いたことである。男子学生の無業者予備軍が今後増加するかどうか注目していきたい。

(性)

結婚前の肉体関係、自分や配偶者の浮気に関する問題に関しては大きな男女差はみられない。同性愛に関しても男女とも9割以上の者が肯定的な考えをもっている。大きな男女差がみられるのはセックス産業に関する意見で性の商品化に対しては女子は「不道徳で許せない」という回答が56人で半数を超えていたが、男子は26人しかおらず肯定派の方が7割をしめている。アダルトビデオやポルノコミックの氾濫に対しても女子は84人が「何らかの規制が必要」と回答しているのに対して男子は「規制すべきでない」と回答した者が半数以上(52人)いる。女の性が商品として売買されポルノグラフィが氾濫する環境は男には楽しいものだが、女にとっては屈辱的で耐えがたいものである。が、そのことに多くの男たちは気づいていないようである。

(法律)

民法(750条)を改正して夫婦別姓が選択できるようにすべきだと思うかという問いに対しては大部分の学生(女子71人、男子60人)が「思う」と回答している。また、「夫婦同氏を選択する場合、どちらの姓を名乗るか」という問いに対して、はっきりと夫の姓と答えた者は女子は55人、男子は38人しかいなかった。残りの6割の学生は、結婚するときは妻の方が夫の姓に自分の姓を変更するのは当然という考えを疑問視している。

売春防止法の改正に関してはやはり大きな男女差がみられる。「法を改正すべきだ」と回答し

た女子学生は90人にのぼったが、男子は68人であった。

(心理)

女らしさ、男らしさに関する問題においては顕著な男女差がみられた。なぜ、性格上の性差が生じるかという疑問に対しては、女子学生も男子学生も先天的なものと後天的なものが輻輳して性差を形成すると回答した者が一番おおかただったが、性差は後天的なものとする学生は女子が22人に対して男子は35人で、男子が女子を大きく上回っている。また、「既成の女らしさ、男らしさの枠の中で生きていきたいか」という問いに対して女子は「思う」と回答した者がわずかに16人で「思わない」と答えた者が83人もいた。女子の多くは自分らしさと女らしさの間にギャップを感じ、女らしさの押し付けには強い反発を感じているようである。一方、男子は女子同様に「思わない」と回答した者が多かったが、「思う」と回答した者が35人いた。既成の男らしさに対して男子は満足している者が多いようである。

一般知能の面では、男女とも約7割の者が性差は存在しないと考えている。が、やはり言語能力においては女性が優れており、空間知覚能力と数学能力においては男性の方が優れていると考えている者が男女とも多い。

7の項目のA群は一般的に「男らしさ」とみられている属性、B群の属性は「女らしさ」とみられている属性である。ひとつ一点で計算すると、A群の平均点は女子9.6、男子10.2。B群の平均点は女子12.8、男子11.7であった。男らしさにおいても女らしさにおいてもグループとして男女比較するとほとんど性差はなく男女とも性格はどちらかというとな性的であることがわかる。

8の項目においては人気タレントの分析から女子学生・男子学生の理想の自分像と異性像を浮き彫りにしたいと思ったのだが、票が分散してしまった。女子学生の中で一番人気がある女性タレントは松嶋菜々子、男性タレントは妻夫木聡という結果がでたが、二人とも8票しか獲得していない。男子学生の中で一番人気がある男性タレントは岡村隆史、女性タレントは竹内結子であったが、どちらもともたつた4票しか獲得していない。ほとんどの学生がメジャーでないタレントの名前を書いていた。「ナンバーワンよりオンリーワン」を求めていることの現われであろうか。

参考文献

- 富士谷あつ子編『女性学入門』（サイマル出版社）、1979年
金城清子著『法女性学のすすめ』（有斐閣）、1986年
東清和・小倉千加子著『性差の発達心理』（大日本図書）、1982年
エレノア・E・マッコビー『性差』（家庭教育社）、1979年